

さくらじま

136号

発行：
公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 東 和沖
鹿児島市鴨池新町1-7県社会福祉センター内
Tel 099 (213) 4055
Fax 099 (213) 4051

URL:<https://kagocsw.jp> E-mail:jacsw@po.minc.ne.jp

新会員の自己紹介

新たに鹿児島県社会福祉士会の仲間となった新会員の方々よりコメントをいただきました。会員全員で会の活動を盛り上げていきましょう！今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

①名前 ②勤め先 ③職種 ④仕事内容 ⑤社会福祉士を目指したきっかけ ⑥今後の目標や抱負

①宮原 大地

- ②障害者支援施設みさかえ学園
- ③心理担当職員
- ④主に入所されている方の生活支援を行いながら、個別に、生活について困っていること等の相談を受けています。
- ⑤施設内中心の視点だけでなく、福祉分野全体からの広く専門的な視点を得たかったからです。
- ⑥様々な方と活動を共にすることで自分を高め、今の職場に生かしていきたいです。

- 介護保険代行申請等
- ケアマネジメント
- ⑤ケアマネジャー業務の中で、MSWや成年後見人、スクールソーシャルワーカー等、社会福祉に関連する方達と連携する機会があり、社会福祉士を目指そうと思いました。
- ⑥私は社会医療法人にて、居宅介護支援事業所にてケアマネジャーをしております。これから自分で居宅介護支援事業所を立ち上げて、ソーシャルワークが出来るケアマネジャーを目指します。

①大山 美子

- ③医療ソーシャルワーカー
- ⑤福祉用具の営業職に従事していた頃、某病院で、お会いしたソーシャルワーカーさんの仕事ぶりに感動したのがきっかけです。
- ⑥自分自身の理想のソーシャルワーカー像に近づけるよう色々なことを吸収して、社会貢献していきたいと思っています。

①花野 拓己

- ②介護老人保健施設
- ③支援相談員(社会福祉士)
- ④主に入所者やその家族との相談業務です。また、必要時には施設やケアマネとの調整や手続き・地域やその他コミュニティとの連携など行います。そして各専門家と連携し、入所者が可能な限り在宅復帰ができるよう全職員で取り組んでいます。
- ⑤もともと介護の仕事に興味があり、学生時代に介護福祉士の資格を取得しました。学ぶ中で福祉の専門職の社会福祉士にも興味が出てきました。介護現場と福祉業務など、どちらでも働きたいと思い、社会福祉士を目指しました。
- ⑥現在介護老人保健施設勤務ということもあ

①有村 繁樹

- ②居宅介護支援事業所 青雲
- ③介護支援専門員
- ④ケアマネジャー業務
 - 入退院連携(病院、介護施設他)
 - 介護保険サービス調整(サービス担当者会議、モニタリング)

り、基本的には介護保険制度が中心です。いろいろな制度がある中で、もっと社会福祉士としての仕事を学びたいと思い、今回社会福祉士会に入会しました。

①野間 穰

- ②児童自立支援施設 鹿児島県立 若駒学園
- ③施設長
- ④家庭や学校及び他の社会的養護施設において適応困難となった子どもたちを対象に、子どもたちと職員が24時間起居を共にしながら、生活・学習・作業の3分野を中心に指導することにより、再び社会に参加できるよう支援する児童福祉施設の施設長です。
- ⑤学園の子どもたちは行動上の問題など様々な課題を抱えて入所してきます。その背景には、被虐待体験、不適切な養育、愛着障害、発達障害等、子どもたちだけで解決できない複雑な問題があり、従来の児童自立支援の領域を超えた幅広い社会資源関係者とのネットワークづくりの必要性を痛感しています。そこで、施設職員に加え社福士としての立場でのアプローチが、より円滑にネットワーク構築できるのではないかと考え、資格取得を目指すことにしました。
- ⑥今年度で定年を迎えます。現職を退いた後は、社福士として児童福祉の分野で貢献していければと考えていますが、今のところノープランです。

①向江 法

- ②介護老人保健施設 青雲荘
- ③ケアマネジャー兼支援相談員
- ④施設の入所相談から退所の支援、ケアプラン作成などです。
- ⑤何か人の役に立つ仕事をしたいと思い目指しました。
- ⑥たくさんの方とのつながりを持って困っている方の支援ができるよう勉強させていただきたいです。よろしくお願いいたします。

①福吉 政信

- ②あいらいさ障害者就業・生活支援センター
- ③就業支援相談員
- ④障害や難病のある方の就労支援と生活支援を一体的におこなっています。
- ⑤この仕事をする中で専門的かつ幅広い知識が必要である事を痛感し、社会福祉士を目指そうと思いました。
- ⑥研修等に積極的に参加しスキルアップしたいと思います。今後ともよろしく願います。

①立山 颯大

- ②志布志市役所保健課(包括)
- ③事務
- ⑤事故で入院した際、社会福祉士という資格を知った。自分の経験を活かし、又これまで支えてくださった方々への恩返しをしたいと思った。
- ⑥更なる知識や技術の向上(社会福祉士として)自分のできることを見つけ増やしていきたい。

①西園 翔平

- ②薩摩川内市社会福祉協議会 地域包括支援センター
- ④65歳以上の高齢者の様々な相談事をワンストップで受けとめ、対象者がどのような生活を送りたいのか、そのために何が困っているのか等の気持ちを尊重し、必要なサービスや制度を紹介したり、生活に関する助言を行ったりすることで解決に導きます。そのほか、権利擁護事業や、介護予防ケアマネジメント事業など先輩方から助言指導をもらいながら業務を行っています。
- ⑥社会福祉士の資格を取得して5年たちますが、日々自分の未熟さ、知識不足を痛感しています。高齢者福祉の分野だけでなく、障害者福祉、児童関連、生活保護など幅広い知識が求められることがあるので、そのような勉強を頑張りたいと思います。

また、地域にどのようなニーズがあり資源が不足しているかのデータ集積にも取り組んでいきたいと思います。

①原園 真由美

②上村病院

③医療事務兼MSW

④現在は、もともと所属している医療事務からMSWへの移行期間で、外来にて医療事務、連携室にてMSW務を兼任しています。MSWの仕事としては、入退院の調整や相談業務が主な内容です。

⑤何か資格をとりたいと考えていた時に、ケアマネジャーをしている友人から社会福祉士が向いているのではと薦められ、興味を持ちました。その後体調を崩して入院した際に、実際にMSWの方にお世話になったり、お仕事を拝見する機会もあり、社会福祉士を目指しました。

⑥MSWとしては、基礎を学んでいる段階で、コロナの影響もあり、実践的な仕事はまだこれからというところですが、患者様の心に寄添い、不安や心配事などを少しでも軽減できるような支援をしていきたいと思えます。

①宮本 晃子

②社会福祉法人桃蹊会

霧島市地域包括支援センター牧園支所

③社会福祉士相談員

④介護予防ケアプラン作成等

⑤大阪で市役所勤めをしていたなかで福祉にかかる課題に関心を持ち、また、父親の介護も経験したので、福祉について基本的な知識を修得したうえで専門職として働きかけができるようになりたいと思いました。

⑥市役所では経理の仕事を経験することが多かったため、お金に関して金銭管理の支援ができたり、成年後見人になって権利擁護に携われたらいいなと考えています。

①深川 美香

②霧島市地域包括支援センター

③社会福祉士

④総合相談援

権利擁護

⑤前職でケアマネジャーとして勤務中対人援助技術や社会資源についての知識不足などで困った時にフォローしてくださった先輩が社会福祉士のかたでした。その事から私も技術や知識を基礎から学ぶ社会福祉士の資格をとりたと思ったのがきっかけです。

⑥霧島市の高齢者が住み慣れた地域でそのかたらしい生活ができるように支援していきたいです。

①若松 孝弘

②株式会社みんなの樹(高齢者福祉施設)

③統括部長兼有料ホーム管理者

④会社統括業務及び有料老人ホームの管理業務(入所及び退所支援など)

⑤平成元年に社協に入職。社協20年目、年齢(よわい)40歳にして入社してくる若者が社会福祉士資格を保持していることに、負けん気、チャレンジ精神がわき、通信課程で社会福祉士学科に入学し、受験すること7回目にしてやっと合格する。令和2年に現職となる。

⑥これまでの経験を活かし、自分ならではの支援を寄与できればと思っています。そのためにもいろんな研修を経てまだまだ研鑽を積みたいと考えています。



①宮田 和恵

- ⑤社会福祉士を目指すきっかけとなったのは、介護職としての限界を感じたことからです。その頃から「本当は何がしたいのか」と考え始めました。心理学を学び、スクールカウンセラーを目指し、働いたことが頭にあり、原点に戻ろうと思いました。
- ⑥今後はスクールソーシャルワーカーとして働きたいと考えています。1人でも多くの子どもたちが笑顔で過ごせるよう、広い視野をもって、学びの姿勢も忘れずにかかわっていききたいです。これからよろしくお願ひします。

①中村 博樹

- ②社会福祉法人青鳥会 吉田愛青園
③主任生活支援員
④重度、最重度の知的障害を持つ方の日中の活動や施設入所の支援をしています
⑤直接処遇の技術や障害特性に加えて、制度に関する知識を身につけ、利用者やそのご家族のニーズに応えたいと思ったからです。
⑥社会福祉全般、児童養護、成年後見制度について学びたいと思っています。

①福満 直樹

- ④社会福祉協議会職員
⑤大学進学を機に「社会福祉士」という資格を知りました。社会福祉を学ぶ中でやりがいを感じ、地域に貢献したいと資格取得を目指しました。
⑥社会福祉協議会に入り10年目になります。社会福祉協議会の職員として、社会福祉士として、「困った人を救う」「地域の中で孤立をつくらない」そんな熱い想いと冷静に行動する力をもつ、そんな専門職になれるよう、研鑽を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

ケアマネと社会福祉士と私

居宅介護支援事業所 青雲 有村 繁樹

現在、私は始良市にある総合病院の居宅介護支援事業所にてケアマネジャーとして働いています。元々は、病院事務、介護保険請求事務、事務次長などの事務職の仕事に就いていましたが、介護保険や医療福祉の現場と関わる機会がありケアマネジャーの役割を知り資格取得をする決意をしました。

私は資格を何も持っていなかったのですが、初めに介護福祉士の資格を取得しました。その後ケアマネジャーを受験しケアマネジャーの資格を取得し、居宅介護支援事業所ケアマネジャー・始良市地域包括支援センター相談支援員、小規模多機能型居宅介護リーダーとして働きました。地域包括支援センターで働いているうちに困難ケース（虐待・成年後見制度・警察事件問題・生活困窮・自殺未遂・地域孤立等）に向き合う事が多々あり、その時に社会保障制度や支援制度について初めて知る事も多く、社会福祉士を取得したいと強く思うようになりました。ケアマネジャーの仕事をしながら、2年間の通信教育を経て社会福祉士受験資格取得し、社会福祉士試験を合格しました。

私はケアマネジャーとして利用者・利用者家族と関わって介護保険サービス調整・介護保険手続き代行・主治医や関係機関とも連携を図ってケアマネジメントをしています。介護保険以外のニーズに対しても関係する機関に繋げてソーシャルワークもしています。社会福祉士を取得したことで、ソーシャルワークができるケアマネジャーとして、これからもクライアント・地域に必要とされるケアマネジャー兼社会福祉士として、活躍していきたいです。

鹿児島県社会福祉士会会員として、鹿児島県社会福祉士会活動にも参加しながら、顔の見える関係性を築いていけるように頑張りますので、鹿児島県社会福祉士会の皆さん、これからも宜しくお願ひ致します。